



さいたま市介護支援専門員協会広報誌

PARTNER SHIP

2006・春号

Vol,8

平成18年度通常総会案内

日時：平成18年5月28日(日) 13:00～

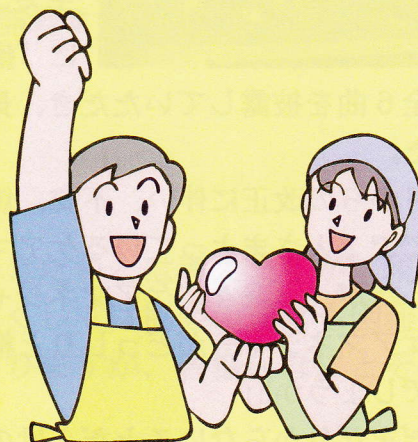
会場：浦和ワシントンホテル

講師：服部 万里子 氏

服部 万里子

略歴 1969年 早稲田大学第二文学部社会学専修卒業
 1980年 大阪府医師会看護専門学校卒業（准看護師）
 1985年 大阪千里看護学院卒業（看護師）
 1989年 服部メディカル研究所設立
 1999年 社会福祉士・介護支援専門員
 2000年 城西国際大学経営情報学部教授
 2001年 産能大学大学院経営情報学研究科（MBAコース）修了

近著 「図解でわかる介護保険のしくみ」
 「介護・福祉がわかる辞典」 など



Aブロック研修

平成17年 12月 17日



講師 加藤 良重 氏 (介護保険制度の改正でどうかわるのか)

「介護老人保健施設 ケア大宮花の丘」の研修室にて、加藤良重氏を迎え「介護保険制度の改正でどうかわるのか」講演していただきました。

まず介護保険法に基づいた話にふれながら、国・自治体の法の種類や制度、特に条例の読み方等、通常ではわかりえない部分にふれていただき、今後、行政資料を見るときの参考になり、ついては改正手続などの講義もしていただきました。改正内容6点にもふれていただき、私たち介護支援専門員にもわかりやすく、「本当はいけないかもしれないが…」と言われながらプリントなども用意していただき、とても内容の濃い研修となりました。

Bブロック研修

平成18年 1月 21日



「在宅医療の推進のための実地研修会」

講師 丸木 雄一 氏 (知っておきたい認知症の基礎疾患・汎発性レビー小体病)

講師 朝田 隆 氏 (認知症・地域の役割)

平成18年1月21日 (土) 16:00 ~ 18:00ソニックシティ国際会議場にて「在宅医療の推進のための実地研修会」と題して研修会が行われました。

最初にさいたま精神神経センターセンター長、丸木雄一先生より「知っておきたい認知症の基礎疾患、汎発性レビー小体病」の講演がありました。症例とともに、レビー小体病の特徴と治療についてお話してくださいました。

次に筑波大学付属病院精神神経科教授、朝田隆先生より「認知症・地域の役割」の講演があり、認知症の予防には、短時間の昼寝・有酸素運動・栄養の取り方で効果があるとのお話がありました。そして実際に有酸素運動を紹介してくださり、参加者全員で体操するなどとても有意義な時間を過ごしました。

Cブロック研修

平成18年 3月 4日



「交流会と情報交換会」

3月4日北浦和「カルタスホール」にてCブロック研修会が行われました。

前半は信夫蓉子さん・正彦さん親子による『ミニコンサート』を開催し、ギター演奏にのせた歌声は、日頃の疲れを忘れさせてくれるような、まさに『癒し』の音楽でした。『早春賦』から始まり『この道』『霧と話した』

等、全6曲を披露していただき、最後は出席者全員で♪春のうらのの～♪でおなじみの『花』を合唱しました。

4月からの改正に伴い、不安、焦り、そして葛藤などが入り混じる中でのケアマネジャー業務。暗闇中で1人さまよっているケアマネさんもおすくなくはないのではないのでしょうか？清水会長も言っていました、「我々、ケアマネジャーが不安だと利用者も不安のまま4月の改正を迎えることになります。ケアマネジャーがどっしりと構え、こんな時代だからこそ！お互いに支え合うことが必要なのではないのでしょうか!!」

まだまだ分からないことだらけの『改正』はすでに始まっています。フーッと深呼吸をして『介護保険は誰のためにあるのか…』もう一度考えてみてはどうでしょうか。

アンケート

平成17年度も様々な研修を企画・提案していただき役員・研修委員・幹事長の皆様本当にお疲れ様でした。また会員の皆様の参加もあり今年度の研修も無事終了となりました。

今年、1年を通して皆様にアンケートを記入いただきましたが皆様の声を抜粋して記載させていただきます。

アンケート回答（抜粋）

- ・研修会に参加させていただき多くの方と知りあうことができありがたく思います。
- ・初めて協会に加入しましたが大変、学習意欲のわく内容でありがたく思います。
- ・これからも基本的な知識、ケアマネジャーとしてのノウハウ等、多方面にわたった研修をお願いします。
- ・病院で働いていますのでいろいろ勉強になり参考になりました。短期入所生活介護を授かっておりますので参加しておりますが非常によかったと思っています。
- ・参加させていただき、とても参考になりました。できれば平日の開催もしていただければと思います。
- ・ステップアップの機会となりました。また、参加したいと思います。
- ・ほぼ全部の研修に参加でき勉強になりました。
- ・研修とともにケアマネジャーの交流の場となるようにして、時間を多くとっていただけたらと思います。
- ・このような全体に向けての講習＋小グループでの話し合いや行政の方たちとの会議等も以前にもまして設けていただけたらと思います。より地域に密着した制度としてスタートしするにあたり、さいたま市としての取り組みを情報として知らせていただけたらと思います。
- ・制度変更の時期は実務的に適性なプランであるのか判断に困ることが多くあります。実務上わかりやすい研修があると良かったと思いますが、今年の研修は有意義なものが多くありました。
- ・今後も定期的に関われることを望みます。今回のように新しい施設での開催は、なかなか見学する機会にも恵まれ、良かったように思います。
- ・まだまだ具体的なものが決まっていない介護保険法。混乱しないためにも改めて勉強会を設けて欲しいと思います。一年間有り難うございました。
- ・各専門分野、また実際にケアマネジャーに携わり仕事をされている方の講師だけにとどまらず、生の声を講義に反映されたそれぞれの研修会は勉強になりました。開催する役員の方々のご苦勞には大変感謝しています。

皆様のアンケートをもとに来年度も研修、交流会を開催していきたいとは考えますが、現状、会員も400人を超え、やはり会員の皆様の今まで以上の協力なくしては協会の運営も困難な規模となってきております。今年度も役員・委員を募集しておりますが、皆様、なにとぞ今後の協会の発展に力を貸してください。

ほのぼのさんぽ

うちの近所のバッチャン！
さいたまやすらぎの里 松本 幸司

熱〜い鍋料理に☆☆☆をあげたくなる季節。道端の雑草にはパウダーシュガーのような霜がかかり、霜柱が毎朝、背比べ&力自慢している頃。私事ですが、引越しちゃいました。

引越の日、荷物を運んでいると人の良さそうな明るいオバチャンが話しかけてきた。「近所なのでよろしくね！」（本当はもっと延々と話しかけてきていました…一人暮らししていてどーのとか…荷物をもってバタバタしている時にです。。苦笑）「こちらこそ！」とその時はなんの問題もなく終わったのです。

後日、北風吹きさぶ中ご近所への挨拶回り。足早に済ませてちょいと一服。ふと思い出してみた。「あのオバチャンいなかったなあ…??」疑問に思いながらも大して気にとめなかった。

そしてまた後日。ちょいと外にでたときに問題発生！バッチャン家からオバチャンが出てきて、「先日はわざわざ挨拶に来ていただいて…云々」と話しかけてくるのです。待ってよ待って！バッチャンに挨拶はしたけれど、オバチャンにはしていないよ！ん？でも声は同じだ！まさかオバチャン、あなたはバッチャンなのですかあー！なのですかああ なのですかああ なのですかああ ……

化粧やら服を気にするだけでも、人はこれほどまで気若返る！歩く姿も違うから、きっと見た目だけでなく、身体も若返っているのかな!?これは、まさに介護予防！誰が何と言おうと介護予防!! 納得×2 自己満足〜☆しちゃいました♪

バッチャーン！これからもオバチャン ネーチャンでいてくださいー!!!



事務局より

1. 平成17年度会費納入について

当協会の運営は会員様の会費によって運営されております。
未納の方は大至急下記口座にお振り込みください。

郵便局口座 口座番号 記号 10320 番号 76599611
加入者名 さいたま市介護支援専門員協会

※事業所名で振り込んだ場合、同事務所に複数の会員がいる場合特定できませんので会員名で振り込んでください。事業所名で振り込んでしまった場合は、振込日・事業所名・会員名を事務局までご連絡ください。

2. 会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会希望の場合は事務局までご連絡ください。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木
(財) さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>